

●三位一体後第二十主日

# 泉のほとり

今月の詩編「第四十一編」

いかに幸いなことでしょう

弱いものに思いやりのある人は。

災いのふりかかるとき

主はその人を逃れさせてくださいます。



## 神の言葉をないがしろにするのは良くない

初代教会は誕生して以来、人数が急速に増えました。

1日に三千人、五千人が教会に加えられることもありました。教会の中では食事、食料の分配がなされており、それが滞っていたようです。やもめたちには少なく分配され、他の人々には多くなされるなど、不公平が生じ、苦情が出てしまいました。使徒たちは「わたしたちが神の言葉をないがしろにして、食事の世話をするのは良くない」。「霊と知恵に満ちた評判の良い人を7人選びなさい。その務めを任せる。わたしたちは祈りと御言葉の奉仕に専念する」と言います。

使徒たちは食卓の奉仕を担おうとしません。彼らがその務めを引き受けるなら、神の言葉を語り、教える、その務めに専念できなくなる。キリストの教会であるのに、キリストの御言葉が十分に語られなくなってしまいます。教会の仲間たちが、主イエスの御言葉を、真理、真実を知らない、信仰が養われ、生かされることのないままになるのです。

主が教会をお建てになられたのは、教会を通して、人々がご自分と結ばれるためです。教会で語られる御言葉に聞き従いながら、いのちに至る道を真つ直ぐに歩んでいくためです。主は、その教会を使徒たちの上にお建てになり、群れを養う、霊的な務めを委ねられました。使徒たちが神の言葉を、福音を語れず、ないがしろになれば、教会は教会でなくなります。教会をお建てになられた主の御心が実現されなくなってしまうのです。そのことを弁えていた使徒たちは自らの務めを中心に、神の言葉に専念し、教会を建てあげていこうとしたのです。

一方、分配の問題に対して、新たな奉仕者として、霊と知恵に満ちた評判の良いものたちを立てました。信仰

によって、常に心低く、なすべき事柄をなし、人々に仕え、苦情が出たり、問題が起こったとしても、何が神の前に正しいことか、何が御心にかなうことかと思極めながら、冷静に対応できるものたちです。教会の奉仕において、重要なことは優れた能力があり、仕事がよくできることではなく、霊と知恵に満ちていることです。

適切に役割分担がなされた結果、神の言葉がますます広まってきました。弟子の数は非常に増え、教会は発展していきました。初代教会は問題が起こっても、神の言葉を教会の中心に据えていました。福音、神の言葉によって人々を主に結ばせ、霊的に養うことに力を注いでいきました。そして御言葉により成長したものが奉仕に用いられ、教会の体制が整えられていくのです。その姿から神の言葉こそ教会の礎であり、土台であることを教えられます。

主は、一人ひとりを弟子とし、教会に連なるものとしてくださいました。教会で真理、真実の御言葉を聞き続け、御言葉よって生かされ、養われて欲しいと主は願っておられます。いつでも、どのようなことが起こったとしても、神の言葉を土台として歩んでいきましょう。

教会には、様々な奉仕や務めがあります。教会は、キリストの体であり、一人、一人はその部分です。一人ひとりがそれぞれの役割、働きをなすことによって、教会は立てられていくのです。御言葉を通してますます成長しつつ、与えられている奉仕や役割に心低く仕え、神の霊と知恵を求めつつ、励んでいきましょう。その働きによって、キリストの体を健康に保つていくことができますよう祈ります。

2024年度

教会全体課題

聖書の御言葉に生きる。

わたしたちのヴィジョン

主イエスの愛の中で、

愛と交わりを通して

お互いに成長する教会

《今日のお知らせ》

○ 礼拝後、一一時四五分(目途)から地下ホールで交わりの会を行います。夏に行われたバイブルスクール参加者による発表を聞き、恵みを分かち合います。

○ 午後二時三〇分より、野中君子姉の葬式を礼拝堂で執り行います。

姉妹は一〇月七日(月)〇時一八分にお亡くなりになりました。九日(水)の一〇時二〇分より出棺式を行います、斎場へ向かいました。

○ 吉村名誉牧師は今日、八王子にある日本基督教団片倉教会で奉仕のため出張です。

また吉村牧師からお願ひしていました説教塾への献金は、六〇名の方が総額六九万四千円の献金を寄せてくださいました。感謝してご報告いたします。

《ぶどうの会より》

本日のぶどうの会は休会です。

《ミニバザーより》

〔今日のミニバザーは中止します〕

本日一三日のミニバザーは中止いたします。次回は一〇月二七日ですので、よろしく願ひいたします。

今日、献品をお待ちになった方は、担当者にご相談ください。日比野・三澤

《シオンの会より》

一〇月二六日(水)一〇時三〇分〜一二時、シオンの会を第二第三シオンルームで行います。(オンラインも併用します。)

テキスト 「聖書が教える世界とわたしたち」P.136

◆救いの実現 (一九) 十字架の死から読みます。

参加をご希望の方は川越啓子姉までご連絡ください。

# 《ジュネーブ教会信仰問答》

## 第十八聖日

問一一一 今やわれわれは信仰がよつて立つところの基礎をえましたから、そこから、真の信仰とは何かを、結論することができましょう。

答 できます。それは、神がイエス・キリストのゆえに、われわれの父であり、救い主であることを、その福音によつて自ら宣言しておられることによる、われわれに対する神の愛についての確固とした認識であります。

問一二二 それは、われわれが自分からもつことができずか。それとも神からくるのですか。

答 それは聖霊の特別の賜物であることを、聖書はわれわれに教えており、また経験もこれを証しております。

問一二三 どのようにしてですか。

答 われわれの理解力が余りにも弱いため、信仰によつてわれわれに啓示される、神の霊なる知恵を理解することができません。それはまた、われわれの心が疑いにおちいたり、われわれとか、もろもろの被造物に対してよこしまな信頼をよせる傾向をもつております。けれども聖霊はわれわれを照らして、さもないければわれわれには理解できないことがらを、理解しうるようにならせ、われわれの心に救いについてのもろもろの約束を封印し刻みつけて、われわれを確信させてくださいます。

問一一四 われわれがこの信仰をもつと、その信仰から何かよいことが、われわれに生じますか。

答 この信仰は、われわれを神のみ前に義とし、われわれに永遠の生命をえさせるのであります。

問一二五 それはどのようにしてですか。人は潔くそして神に従つて生きる時、そのもろもろの善き業によつて、義とせられるのではないのでしょうか。

答 もしも、誰かそれほど完全な人がいるならば、当然その人を義人と呼ぶことはできるであります。しかしわれわれはすべて、憐れな罪人でありますから、神の審判に適合するために、われわれの正しさを他のところに探さなければなりません。

外山八郎訳（新教出版社1979年）

# 《今日の子ども礼拝》

説教 「城壁が崩れ落ちた」

聖書 ヨシユア記6章1〜5節

説教者 宮間彰広兄

# 《次週の礼拝》

●子ども礼拝（午前9時20分・地下ホール）

説教 「主がお怒りになられること」

聖書 ヨシユア記7章1節

説教者 宮間彰広兄

●主日礼拝（午前10時30分）

讚美歌 294番 II 4番

説教 「わたしたちの本当の希望は」

聖書 1ペトロ1章22〜25節

説教者 吉村和雄 名誉牧師





## 主日礼拝 (午前10時30分)

讃美歌 74番 331番  
説教 「わたしは既に世に勝っている」  
聖書 ヨハネ16章25～33節(新約P.201)  
司式 石川一兄  
聖餐司式 黄允湜 牧師  
説教者 黄允湜 牧師

前奏曲「父、子、みたまの一人の神よ」J.S.バッハ

### ○讃美歌74番

1. 涯しも知られぬ あまつ海原を  
わたるや朝日の うららに匂いて  
み恵みあまねき 父なるみかみを  
あらかず光ぞ 日々に新たなる
2. 暮れゆくみ空に 月星ほのめき  
盈ちかくる影に 変るきらめきに  
ときわに変わぬ みかみの真理を  
あらかず光ぞ 夜々に明かなる
3. 昼はものいわず よるは語らねど  
声なきうたごえ 心にぞひびく  
「われらの生命に まします御神の  
律法はかしこく 御威こよなし」と  
アーメン

### ○聖歌隊による讃美

「力の主をほめたたえまつれ」 (讃美歌9番)  
S.Gesangbuch 曲

1. 力の主を ほめたたえまつれ  
わが心よ 今しも目さめて  
たてごと かきならしつ  
主をたたえまつれ

2. 命の主を ほめたたえまつれ  
しげきめぐみ 雨と降り注ぐ  
つきせぬ みいつくしにを  
いかで忘るべき
3. さかえの主を ほめたたえまつれ  
世をこぞりて かしこみがあめよ  
光に いますわが主を  
主をたたえまつれ

### ○讃美歌331番

1. 主にのみ十字架を 負わせまつり  
われ知らずがおに あるべきかは
2. 十字架に負いにし 聖徒たちの  
み国によるこぶ さちやかに
3. わが身もいさみて 十字架を負い  
死にいたるまでも 仕えまつらん
4. この世の禍幸いあkにもあれ  
さかえのかむりは 十字架にあり  
アーメン

聖餐曲「ちとせの岩よ、わが身をかこめ」D.ウット

後奏曲「協奏曲変ロ長調」J.G.ヴァルター

※礼拝のしおりと讃美歌をお持ちください。